

新しいコンビニ「もっけ」の提案」

C124024A 石塚春彩

1. 現状

大学内にある「もっけ」の自らの体験、また、友人との意見交換を通して、以下の4つの現状を発見した。

- ① 価格が高い
- ② 品ぞろえがよくない
- ③ 店内が薄暗い
- ④ 支払方法が現金のみである

そしてこれらの現状から、顕在的ニーズ、潜在的ニーズを検討した。まず、顕在的ニーズは、

- 価格を安くしてほしい
- 品ぞろえをよくしてほしい
- 店内を明るくしてほしい
- 支払方法を増やしてほしい

という点が挙げられる。

そして、潜在的ニーズは、学内のコンビニであるということも踏まえて、

- 友達同士で行きやすい、また、行きたくなるようにしてほしい
- たくさんの商品を購入しやすくしてほしい

という2点を考えた。

2. 課題

以上の現状から、私は、友達同士で足を運びやすく、たくさんの商品を購入しやすい「もっけ」を作るにはどうすればよいかという課題を立てた。

3. コンセプトとプロダクト

〈コンセプト〉

友達同士で足を運びたく、たくさんの商品を購入したい人のために、おしゃれできれいな内装の、購入金額に応じてスタンプがたまるシステムのあるコンビニを提案する。

〈プロダクト〉

- おしゃれできれいな内装は、木材を使用して柔らかみのある雰囲気を作り、植物などを置いて実現させる。また、店内に音楽をかける。
- 電子マネーやクレジットカードなどによる支払いを可能にする。

- 購入金額に応じたスタンプの付与を行い、決まった数のスタンプが貯まったら、「もっけ」で使える割引券や、文房具などと交換できるシステムを導入する。

(イメージ)



<https://th.bing.com/th/id/R.5ea37f3a98843c0ae0852503ca4647c5?rik=oL%2bAnQLP6MEvEA&riu=http%3a%2f%2fstatic1.squarespace.com%2fstatic%2f576d9469e3df2820f596de45%2ft%2f6346c1f022549e0444d7ba31%2f1665581552254%2f%e3%82%b9%e3%82%af%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%83%b3%e3%82%b7%e3%83%a7%e3%83%83%e3%83%88%2b2022-10-07%2b8.59.50.png%3fformat%3d1500w&ehk=g4aDcqqiwrtFopQBVsBUvH%2bh29tFvKM%2fLbajb22uMII%3d&risl=&pid=ImgRaw&r=0>

4. 期待される効果

以上の新たな「もっけ」から得られる効果は、7つある。

- i. おしゃれな内装にすることで自然と足を運びたくなり、友達同士で行く機会も増加する。
- ii. 木材を使用したり、植物を置いたりすることでリラックス効果が期待でき、学校での疲れを癒すことができる。
- iii. 音楽をかけられるようにすることで、学生からリクエストを募集でき、より学生が行きたいと思えるようになる。
- iv. 電子マネーやカードによる決済を可能にすることによって、だれもが商品を購入しやすくなる。
- v. 学生は普段現金を多く持ち歩くことは少ないと考えられるため、人におごったり大量に購入したりしやすくなる。
- vi. スタンプ付与システムを導入することで購入意欲が掻き立てられ、繰り返し「もっけ」を使用することにつながる。
- vii. 「もっけ」の利用者が増え売り上げが上がることで、商品の価格を下げる事が可能になる。